

2019年 ファシリテーター養成講座 活動報告 原稿

2019年7月25日(水)

ルーテル学院大学において 情報の交差点 松本輝一

どんなことを言おうか迷っている。みなさんが何を知りたいのか。私が4年前のことを思い出した。みんなと違うことをやってみたいな、とブツブツ。

当時はまだ教育分野に未練があった。ということはまだ職場人間から脱皮出来ていなかった。

班分けの時に「この指とまれ」になんとか集まったのがこのメンバー。何が変わったか。個人的には、職場人間から多少地域人間に。家族的には「邪魔だからどんどん外に出て」から「なんで外に出るの、家庭ファースト」と家庭に奉仕しなさいに。

私たちが3年間活動できたのも無理なお願いを笑顔で応えてくれた地域社協のみなさんとルーテル学院大学の先生方のご協力のおかげです。この場をおかりして心より感謝します。

(説明1ページ)

今期は35人の修了生

2016年7月 8期講座(*1)開始

思い出すと暑い時期でした。

2016年10月 チーム名を決定「情報の交差点」

2017年1月 「新たな支え合い活動」提案

(はじめの一步)暮らしの小さな困りごとを解決していくと同時に、地域にお



2016年7月 8期講座(*1)開始

(*1)三鷹市、武蔵野市、小金井市の3市行政、3市社会福祉協議会、およびルーテル学院大学の7者が協働し、自らが住む地域を大切に思い、その福祉に貢献する意欲ある住民の方々を対象に、「地域福祉ファシリテーター」として養成することを目的として実施しています。

ける人と人とのつながりを強めていく。

支え合って心豊かに生きていこう。

(*1) 三鷹市、武蔵野市、小金井市の3市行政、3市社会福祉協議会、およびルーテル学院大学の7者が協働し、自らが住む地域を大切に思い、その福祉に貢献する意欲ある住民の方々を対象に、「地域福祉ファシリテーター」として養成することを目的として実施しています。

(説明ページ2)

メンバーの紹介

2016年10月 チーム名を決定「情報の交差点」



- 2017年1月 「新たな支え合い活動」 提案
- (はじめの一步) 暮らしの小さな困りごとを解決していくと同時に、地域における人と人とのつながりを強めていく。

小金井市1名、三鷹市6名、武蔵野市3名という構成。

男3名、女7名。

年齢は写真を見てご想像に。

現在一人抜けられて、9名で構成している。仲間を広げていきたい。

(説明ページ3)

チームの缶バッジとネームプレートを作成

缶バッジとネームプレートを

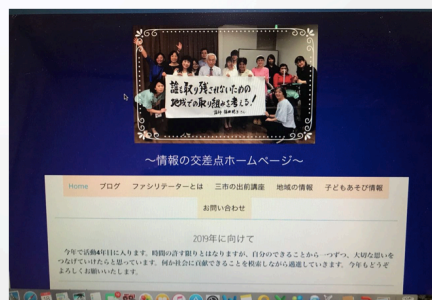


差別化

(説明ページ 4)

ホームページ、フェイスブックページの作成

ホームページ



<https://kosaten.jimdo.com>

情報の交差点

2017 年度

(説明ページ 5)

2017 年 6 月 武蔵野市出前講座「シニア・エアロ」

2017年6月 武蔵野市出前講座「シニア・エアロ」



- 武蔵野プレイス・パフォーマンススタジオ
- 講師 田中千代子さん

苦勞して企画書の作成、会場選定、講師選定、三市・社協に後援依頼、広報誌への掲載依頼、チラシの作成、参加者募集等が進み最終段階で会場が使えないことが判明。

(説明ページ 6)

2017年8月 三鷹市出前講座「子どもの遊びとスポーツ」

2017年8月 三鷹市出前講座「子どもの遊びとスポーツ」



- ルーテル学院大学トリニティホール等
- 講師 横森茂樹さん

対象の子どもは夏休みは忙しい。

(説明ページ 7)

2017年10月 小金井市出前講座「聴覚障害を知る」

2017年10月 小金井市出前講座「聴覚障害を知る」



- 小金井市前原暫定集会施設
- 講師 帯井康善さん

手話通訳を介した打ち合わせの経験。

近隣の聴覚障害者協会の集まりにもなった。

2018年度

(説明ページ 8)

2018年6月 武蔵野市自主学習会「介護保険のイ・ロ・ハを知る」

2018年6月 武蔵野市自主学習会「介護保険のイ・ロ・ハを知る」



- 武蔵野市立・男女平等推進センター
- 阿久津美栄子さん

パソコン・プロジェクター
会場が見つからなく困った

(説明ページ 9)

2018年8月 三鷹市出前講座「子どもの遊びとスポーツ」

酷暑

2018年8月 三鷹市出前講座「子どもの遊びとスポーツ」



- ルーテル学院大学トリニティホール等
- 講師 横森茂樹さん

お土産の手配（警察署、消防署）
学生ボランティアのお願い

(説明ページ 10)

2018年10月 小金井市自前講座「盲ろう者の視点から」

2018年10月 小金井市自前講座「盲ろう者の視点から」



- 小金井市商工会館2階
- 福田暁子さん

返事がないと思ったら海外での会議で出張

明け方にプロジェクターの要請が

(説明ページ 11)

活動の特徴

活動の特徴

- 三市の市民10人
- 手作りの出前講座を三市で実施

三市の市民10人

地域の困りごと 三市での違いは

手作りの出前講座を三市で実施

分野も三つに シニア、子ども、

障害者

講師も地域の人脈

(説明ページ 12)

学んだこと

学んだこと

- 仲間の絆
- 広報
- 助成金
- 三市の社協、ルーテル学院大学との連携

仲間の絆 信頼、結束、企画力、想像力、行動力

広報 後援依頼、掲載依頼、ちらし、アンケート、保険

助成金 講師料の一部に、通訳、介助
三市の社協、ルーテル学院大学との連携 大変な仕事をやっている

(説明ページ 13)

課題

課題

- 出前講座をやって自己満足で終わっていないか
- 活動計画とのすり合わせ
- 変化にあった活動形態の模索
- 規約

自前講座をやって自己満足で終わっていないか

すごい成果である。地域や困りごとの役に立ったのか

活動計画とのすり合わせ

変化にあった活動形態の模索

当初の熱風は冷めてくる。代表のリーダーシップが問われる

規約 組織としての約束事

(説明ページ 14)

今年度の活動

活動を継続する 草の芽運動はつづけることに意義がある

手作り自前講座を一つに集中 個別に深堀

今年度の活動

- 活動を継続する
- 手作り出前講座を一つに集中
- テーマを「私たちの知らなかった世界」シーズン3とする。
(仮称)障害者の自立について
事前勉強会
出前講座
事後反省会
研修会

テーマを「私たちの知らなかった世界」シーズン3とする。

(仮称)障害者の自立について

事前勉強会

自前講座

事後反省会

研修会

発表を終えて

7月25日、ルーテル学院大学で実践

活動報告をしてきました。

齋藤さんが駆けつけてくれました。ものすごく助かりました。

証拠として大曲先生に写真を撮ってもらいました。



今回の受講生は例年通り女性が多く、全体的に若く感じました。9グループの発表があり、みなさん5分間の発表は難しく苦勞していました。私は、前列の方の熱い眼差しに話が横筋にそれ、また、聞こえないという声があり、さていよいよ本筋からまとめに入ろうとしたら4分のベルが鳴りました。失敗の発表でした。ただ今回は資料を全て印刷して配布してくれたので興味を持った方は読んでくれると思います。

グループ討議では理路整然とした齋藤さんの説明でみなさん納得されていました。学生さんが興味を持ってくれ、時間が合えば一緒に活動したいと申し出がありました。

全体的には“おざなりな”会で終始しているように感じた。例えば“活動を通しての問題点はなんですか”に絞り発表し、今後の活動に活かせる声を集め、それを受講生が感じ取れ具体的な活動に入れば面白いと思いました。ということは、「主体は誰か」ということに行き着くと思います。

以上